



JFE

CLECIM

CLECIM

19810

# DAIWA STEEL

会社案内

ダイワスチール株式会社  
DAIWA STEEL CORPORATION



▲水島事業所 製鋼工場



▲水島事業所 圧延工場

当社は1952年7月大和伸鉄(株)として発足し、1960年10月大和電機製鋼(株)に商号変更しました。その後1992年7月の創立40周年を機にダイワスチール(株)に再度商号変更し現在に至っております。

当社は棒鋼専門メーカーであり、当初は兵庫県神戸市を本拠地としておりましたが、その後岡山県倉敷市への設備移転および集約を進めてまいりました。1990年11月水島事業所に製鋼工場(1号電気炉)を竣工させ、引き続き1993年7月に同棒鋼工場、次いで1994年4月同製鋼工場に2号電気炉を建設し、これにより水島事業所での一貫体制が整いました。

関東地区においては、1993年4月に東部スチール(株)(旧:東部製鉄(株))を合併して東部事業所とし、市場への進出を果たしました。

これにより、製鉄所内立地の水島事業所と独立立地の東部事業所が、東西で有機的に結合する強力な経営基盤を確立するにいたりました。

2002年には、おかげさまで創立50周年の節目を迎えるとともに、新たに誕生した「JFEグループ」の一員となりました。

今後も、地域に密着した鉄資源リサイクル産業としての社会的使命の自覚のもとに、鋼材を安定供給し、豊かな社会づくりに貢献してまいります。



▲東部事業所 全景

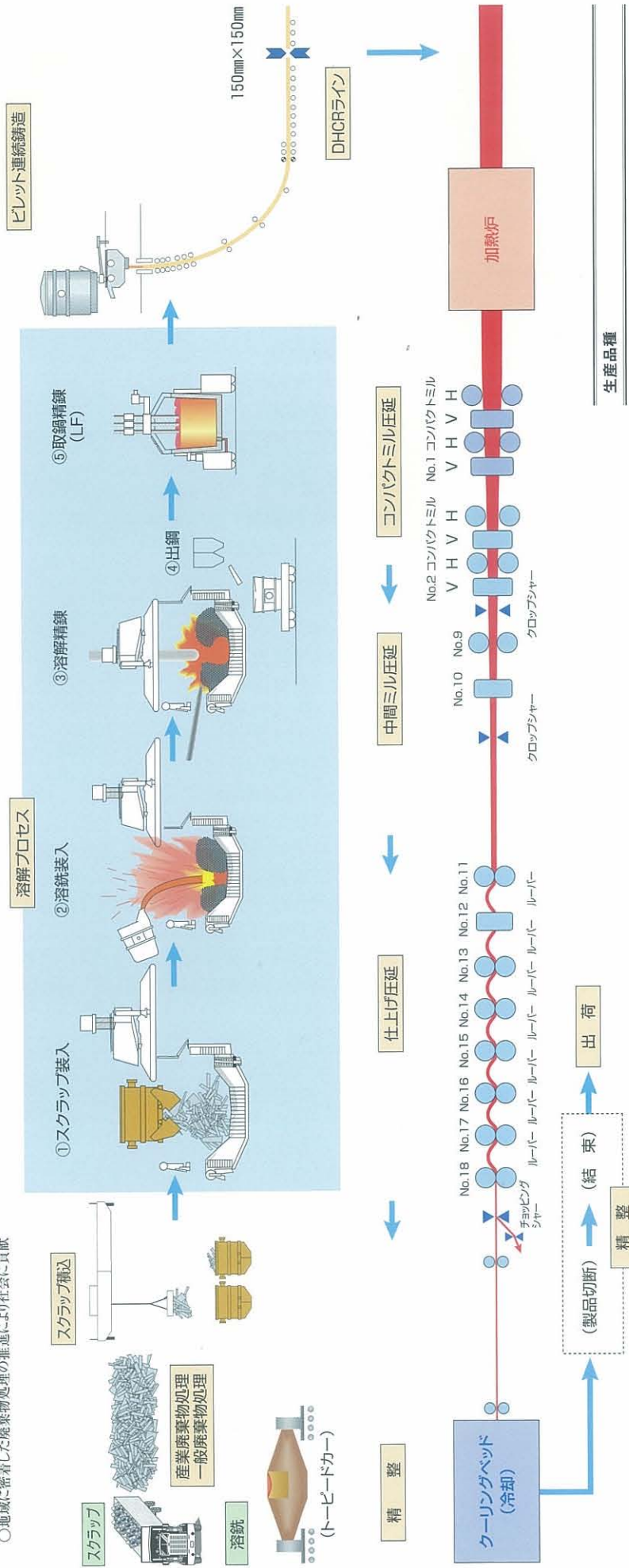
1. 各事業所および事務所の所在地
- 【大阪営業部】〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号 [堂島アバンザ10F]  
電話 (06) 6342-0655 (代表) F A X (06) 6342-0653
  - 【西日本営業部】〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目  
[J F E スチール(株)西日本製鉄所倉敷地区構内]  
電話 (086) 447-4262 (代表) F A X (086) 447-4263
  - 【東京営業部】〒341-0034 埼玉県三郷市新和3丁目435番地の1  
電話 (048) 953-1691 (代表) F A X (048) 953-1695
  - 【総務部および水島事業所】  
〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目  
[J F E スチール(株)西日本製鉄所倉敷地区構内]  
電話 (086) 447-4224 (代表) F A X (086) 447-4225
  - 【東部事業所】〒341-0034 埼玉県三郷市新和3丁目435番地の1  
電話 (048) 952-2211 (代表) F A X (048) 952-7078
2. 商号……ダイワスチール株式会社  
(DAIWA STEEL CORPORATION)
3. 会社の目的…… (1) 鉄製品の製造および販売  
(2) その他金属製品の製造および販売  
(3) 産業廃棄物処理業  
(4) 一般廃棄物処理業  
(5) 前各号に付帯する一切の業務
4. 営業品目…… (1) 鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形棒鋼、コイル鉄筋、ネジ鉄筋)  
(2) 加工製品 (ロックボルト、フープ筋)
5. 本社……大阪市北区堂島1丁目6番20号 (登記上)
6. 設立年月日……1952年(昭和27)7月29日
7. 資本金……5,050百万円
8. 株主…… J F E スチール(株) 2,412,980株 (持株比率 92.4%)  
(株)メタルワン 137,660株 (持株比率 5.3%)  
双日(株) 60,000株 (持株比率 2.3%)
9. 沿革……1952年(昭和27)7月 神戸市東灘区本庄町青木中浜町226において大和伸鉄株式会社を設立。  
1960年(昭和35)10月 大和電機製鋼株式会社に社名変更。  
1961年(昭和36)4月 尼崎市猪名寺字西田182に工場を新設し、本社を移転。  
1972年(昭和47)4月 神戸市兵庫区和田山通2丁目1番1号に工場を新設し、本社を移転。  
1979年(昭和54)4月 H形鋼を川崎製鉄株式会社阪神製造所へ委託圧延し、販売を開始。  
1983年(昭和58)10月 一般構造用圧延鋼材棒鋼の製造および販売を開始。  
1986年(昭和61)10月 川崎製鉄株式会社水島製鉄所中形形鋼工場の移管を受け、当社水島工場として発足、H形鋼の製造を開始。  
1988年(昭和63)4月 東部製鉄株式会社(埼玉県三郷市)から営業権を譲渡される。  
※注:東部製鉄 同1988年(昭和63)4月東部大和電機製鋼に社名変更 1992年(平成4)7月東部スチールに社名変更  
1990年(平成2)10月 水島事業所を開設。  
1990年(平成2)11月 水島事業所製鋼工場竣工。  
1990年(平成2)12月 神戸製鋼工場操業終了。  
1992年(平成4)7月 ダイワスチール株式会社に社名変更。  
1993年(平成5)4月 東部スチール株式会社と合併。  
1993年(平成5)7月 水島事業所棒鋼工場竣工。  
1993年(平成5)11月 神戸圧延工場操業終了。  
1994年(平成6)11月 神戸市中央区北本町通1丁目1番28号に本社(総務部および営業部)を移転。  
1995年(平成7)12月 大阪事務所を開設し総務部および営業部を移転。  
2000年(平成12)2月 総務部を水島事業所内に移転。  
2001年(平成13)6月 東部事業所のパー接合方式による連続圧延設備が稼働(世界初)  
2003年(平成15)4月 東部事業所の鉄筋コイル製造設備が稼働  
2003年(平成15)9月 水島事業所中形工場操業終了(H形鋼の製造を終了)  
2007年(平成19)7月 大阪市北区堂島1丁目6番20号に本店住所(登記上)を移転。
10. I S O 認証…… ISO9001 水島事業所(棒鋼の製造及び付帯サービス)  
ISO9001 東部事業所(棒鋼の製造)  
ISO14001 本社(棒鋼の製造、販売)  
ISO14001 水島事業所(1. 棒鋼の製造、販売)  
(2. 産業廃棄物、一般廃棄物の焼却による中間処理)  
ISO14001 東部事業所(棒鋼の製造、販売)
11. J I S 認証…… J I S G 3 1 1 2 水島事業所(鉄筋コンクリート用棒鋼)  
J I S G 3 1 1 2 東部事業所(鉄筋コンクリート用棒鋼)

水島事業所および東部事業所では、一貫した生産ラインのもと、わが国トップクラスの製品を生産しています。生産工程においては、受注から原材料、製鋼、圧延、出荷まで、一貫した管理システムで、高品質の製品を安定して製造できるよう、努めています。特に、品質管理面には、当社の技術力と最新検査機器を駆使し、万全の品質保証体制を敷いています。

## 水島事業所全体工程図

### 事業所の特徴

- 多品種、多サイズ(D10~51mmのフルサイズ)の棒鋼を製造
- JFEスチール㈱西日本製鉄所食糧地区構内に立地し、場内で発生する還元屑、副原料、エネルギー(酸素ガス)などを活用
- JFEスチール㈱高知からの溶銹と製鉄所構内発生鉄屑を溶解精錬することにより、不純物の少ない高品質の製品を製造
- 地域に密着した廃棄物処理の推進により社会に貢献



①一般鉄筋  
SD295A, SD345, SD380, SD490 他  
(D10, D13, D16, D19, D22, D25, D29, D32, D35, D38, D41, D51)

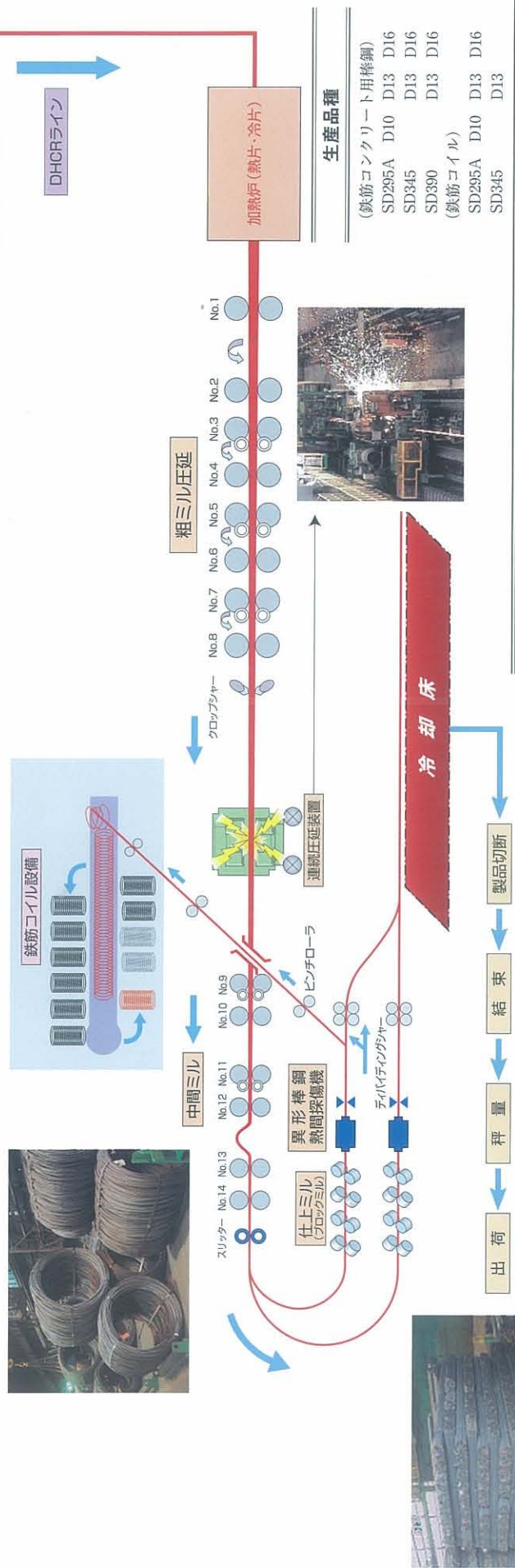
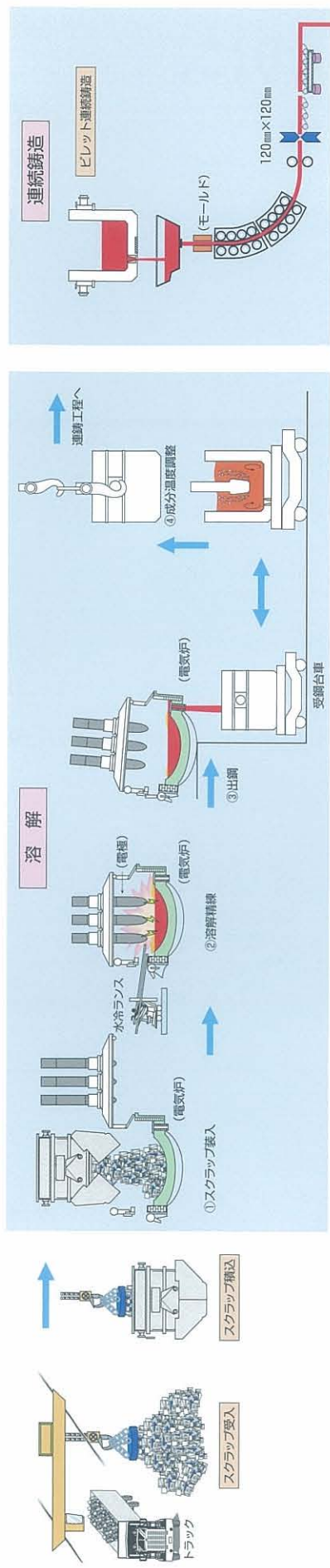
②ネジ筋鉄筋  
SD295A, SD345, SD380, SD490 他  
(D19, D22, D25, D29, D32, D35, D38, D41, D51)

③フープ筋



▲製品 異形棒鋼 D10~D51

# 東部事業所全体工程図



## 事業所の特徴

1. 製品の大消費地であり且つ原料のスクラップの大集積地である首都圏に立地し、原料調達コスト及び製品販売の数量やコスト面における優位性
2. 世界初のバー接合方式連続圧延の開発とそれを応用した関東圏唯一の鉄筋棒鋼の製造メーカー。
3. D10及びD13の細物サイズに特化した鉄筋棒鋼の製造メーカー。
4. JFEグループ企業として、JFEスチールの人的、知的資源の活用による技術的優位性及びJFEホールディングスによる資金調達コストの優位性。
5. 都市型電炉メーカーとして、環境保全等地域との共生を会社の存在基盤とする。



あらゆる土木・建築物の基礎資材として、  
豊かな都市づくり、環境づくりに、  
貢献しています。



▲神戸ウイングスタジアム



▲大阪ドーム



▲神戸赤十字病院



▲岡山県総合グラウンド陸上競技場（桃太郎スタジアム）



▲岡山操車場跡地公園（岡山ドーム）



▲東京都庁



▲六本木ヒルズ

近代的フォルムの高層ビルやホテル、都市機能を高める、高速道路や橋…。ダイワスチールの棒鋼製品は、ビル、マンション、橋、高速道路、ダムなど、多種多様な土木・建築物の基礎資材として、幅広く使われています。質の確かさを誇る当社製品は、国内はもちろん、海外でも高い評価を得、さまざまな国の都市づくりや環境整備に貢献しています。



▲東京理科大学 薬学部 (千葉県野田市)

## 新しい鉄の文化の創造をめざして。

めざましい技術革新の中、基礎資材としての鉄に求められるものは、ますます多様化・高度化していきます。私たちダイワスチールは、これらの動きを的確にとらえ、しなやかな発想力と行動力で、新しい鉄の文化の開拓をめざします。また、土木・建築の基礎資材だけでなく、新しい分野にも取り組み、鉄の無限の可能性を追求し続けていきます。

## 鉄の文化を呼吸する。

私たちの願いは、優れた製品を通して、快適で豊かな環境づくりに貢献することです。この願いをかたちにするために、常に製品の質の向上を図ると共に、お客様のニーズを先取りしていくよう、努めています。鉄の可能性は無限大。私たちダイワスチールは、現状に甘んじることなく、広い視野のもと、豊かな環境づくりに全力をあげて取り組んでいます。

<http://www.daiwa-steel.com>

総務部	〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目(JFEスチール株 西日本製鉄所 倉敷地区構内)	☎(086) 447-4224(代)	☎(086) 447-4225
大阪営業部	〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号(堂島アバンザ10階)	☎(06) 6342-0655(代)	☎(06) 6342-0653
西日本営業部	〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目(JFEスチール株 西日本製鉄所 倉敷地区構内)	☎(086) 447-4262(代)	☎(086) 447-4263
東京営業部	〒341-0034 埼玉県三郷市新和3丁目435番地1号	☎(048) 953-1691(代)	☎(048) 953-1695
水島事業所	〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目(JFEスチール株 西日本製鉄所 倉敷地区構内)	☎(086) 447-4224(代)	☎(086) 447-4225
東部事業所	〒341-0034 埼玉県三郷市新和3丁目435番地1号	☎(048) 952-2211(代)	☎(048) 952-7078